

平成 25 年 11 月 25 日

第 8 回有機化学系教科担当教員会議 議事録

1. 日時：平成 25 年 11 月 4 日（月）13：35～16：45

2. 会場：福岡大学薬学部 16 号館 4 階 1641 大講義室

世話役	福岡大学薬学部	丸岡 博
	福岡大学薬学部	山方 健司
	第一薬科大学	増田 寿伸
	第一薬科大学	白谷 智宣

3. 出席者 日本薬学会会頭（柴崎正勝先生）、日本薬学会副会頭（太田茂先生）、
日本薬学会常任理事（横山祐作先生）、69 大学の有機化学系教員
合計 89 名

4. 会議

議題：有機系教科担当教員における基礎薬学研究の活性化について
～薬学部 6 年制コアカリキュラムの改訂を踏まえて～

- | | | |
|-----------------------------------|------------------------------|----------|
| (1) 開会の挨拶 | 福岡大学薬学部長 | 添田 泰司 |
| (2) 会議の趣旨および報告事項について | 福岡大学薬学部 | 丸岡 博 |
| (3) 特別講演 1 | | |
| | 「基礎薬学研究の活性化について」 | |
| | 日本薬学会 会頭 | 柴崎 正勝 先生 |
| | 座長 福岡大学薬学部 | 山方 健司 |
| (4) 特別講演 2 | | |
| | 「薬学 6 年制モデル・コアカリキュラムの改訂について」 | |
| | 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 | 太田 茂 先生 |
| | 座長 福岡大学薬学部 | 丸岡 博 |
| (5) アンケート報告および質疑応答 | | |
| | 第一薬科大学 | 増田 寿伸 |
| | 第一薬科大学 | 白谷 智宣 |
| (6) 本会議の今後の進め方および次年度以降の開催について | | |
| (7) 懇親会：17：05～18：15（於 福岡大学第 2 食堂） | | |

5. 会議報告

1) 世話人挨拶

はじめに、本年度の世話人より挨拶があり、4名の世話人の紹介がなされた。

2) 開会の挨拶

福岡大学薬学部長の添田秦司先生より会議開会の挨拶があった。

3) 会議の趣旨および報告事項について

最初に世話人より、配布物（会議次第、会議名簿、資料1、資料2、資料3、資料4-1、資料4-2）の説明がなされた。次いで、会議出席者数の確認後、有機化学系教科担当教員会議の趣旨および薬学教育協議会の定款・理念・目的について説明がなされた（資料1）。その後、第1回教科担当教員中央会議（資料2）ならびに次世代シンポジウム運営委員会の報告（資料3）があった。

4) 特別講演1

日本薬学会会頭の柴崎正勝先生から、会頭に就任されてからこれまでの経緯として、1. [4+2+2]制度の薬剤師養成システムについて、2. 日本薬学会の財力を有効利用する研究奨励制度について、3. 委員会の委員長として薬学人が社会にアピールする必要性について、また、最新の研究活動について等、「基礎薬学研究の活性化について」に関する講演をして頂いた。講演後に、私学の厳しい研究活動状況の中において、それを考慮した学会開催曜日検討の要望や大学院奨学金制度の現実化についての質疑応答がなされた。

5) 特別講演2

日本薬学会副会頭の太田茂先生から、1. 現行の薬学教育モデル・コアカリキュラムについて、2. 薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂について、3. 事前アンケート調査結果について、4. 次世代シンポジウム運営委員会報告書について等、「薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂」に関する説明がなされた。会場から、コアカリキュラム改訂は、社会のニーズに合致していないのでは、すなわち「薬をつくる」という内容が表現されていないという質疑等があり、活発な討議がなされた。

6) アンケート調査報告

薬学6年制モデル・コアカリキュラムの改訂案を踏まえて、基礎薬学研究の活性化に繋がる今後の指針を模索することを目的として、下記の7項目について事前アンケート調査を行い、その結果の概要について報告をした（詳細は配布資料4-1と4-2を参照）。74の全ての薬科大学および薬学部からアンケートの回答が得られた（回答率100%）。

設問1. コアカリ改訂案では、従来のC5（ターゲット分子の合成）が削除されるなど大幅な変更が示されています。このコアカリ改訂案についての印象や問題点

など、ご意見をお書きください。

設問 2. 現行の有機化学系 (C4、C5) の科目 (科目名、履修学年、単位数) についてお書きください。

設問 3. コアカリ改訂に伴い、上記の有機化学系科目の履修時間数や単位数を変更する必要があると思われますか。その際の問題点など、ご意見をお書きください。

設問 4. 削除された C5 (ターゲット分子の合成) の内容について、アドバンスト教育としてカリキュラムに組み込むなどご意見をお書きください。

設問 5. コアカリ改訂案では、化学系の技能に関する項目が減少しています。これに伴い有機化学系実習の内容を変更する必要があると思われますか。ご意見をお書きください。

設問 6. コアカリ改訂案の実施に基づき、十分な研究活動期間を確保することが可能なのか。ご意見をお書きください。また、確保するための解決策についてご意見をお書きください。

設問 7. 基礎薬学研究の活性化に関して、コアカリ改訂案の問題点と解決策について提言等あればお書きください。

事前アンケート調査結果の概要報告後、基礎薬学研究の活性化として、以下のような総括がなされた。学生が興味を抱くような多彩な選択科目 (アドバンスト講義等) を設けて、研究マインドをもつ学生を育成することが重要である。変化に対応できる柔軟性を持つ学生を社会に輩出できるような教育が必要である。それには卒業研究は重要な位置を占めている。実務実習との関係から卒業研究がスムーズに実施されにくい状況にあるので、やはり「実務実習のありかた」の改善が大きな鍵となる。

会場からは、他の領域において有機化学を教える理由や有機化学領域で「創薬」の文言が欠如していることに対する質疑等があり、太田先生より、言葉そのものは無いがコアカリの内容の中には十分に含まれていることを理解して、新カリキュラムで「創薬」を意識した講義を盛り込んでほしい等の回答がなされた。また、アンケートで提案された実務実習を半期遅らせて、卒業研究を活性化させる改善案に対する詳細な説明もなされた。

7) 本会議の今後の進め方および次年度以降の開催について

2014 年の反応と合成の進歩シンポジウムは、東北大学の山口雅彦先生が担当され、11 月 10 日 (月)、11 日 (火) に仙台で開催される予定であることを受けて、東北薬科大学の加藤先生のお世話によりシンポジウム前日に開催されることが承認された。

以上

第8回有機化学系教科担当教員会議出席者名簿

No.	大学名	氏名(敬称略)	会議	懇親会	備考
1	北海道大学	周東 智	○	×	
2	東北大学	徳山 英利	○	○	
3	千葉大学	濱田 康正	○	○	
4	東京大学	井上 将行	○	○	
5	富山大学	松谷 裕二	○	×	
6	金沢大学	国嶋 崇隆	○	○	
7	京都大学	高須 清誠	○	○	
8	大阪大学	赤井 周司	○	○	
9	岡山大学	宮地 弘幸	○	×	
10	広島大学	太田 茂	○	×	
11	徳島大学	佐野 茂樹	○	○	
12	九州大学	麻生 真理子	○	○	
13	長崎大学	田中 正一	○	○	
		畑山 範	○	○	
14	熊本大学	中島 誠	○	○	
		石塚 忠男	○	○	
15	岐阜薬科大学	佐治木 弘尚	○	○	
16	名古屋市立大学	樋口 恒彦	○	○	
17	北海道医療大学	石倉 稔	○	○	
18	北海道薬科大学	和田 浩二	○	○	
19	岩手医科大学	河野 富一	○	○	
20	東北薬科大学	加藤 正	○	○	
21	奥羽大学	山岸 丈洋	○	○	
22	いわき明星大学	倉澤 嘉久	○	○	
23	城西大学	坂本 武史	○	○	
24	新潟薬科大学	北川 幸己	○	○	
25	帝京平成大学	西谷 潔	○	○	
26	城西国際大学	高橋 たみ子	○	×	
		石崎 幸	○	○	
27	高崎健康福祉大学	峯野 知子	○	○	
28	日本薬科大学	川久保 弘	○	×	
29	千葉科学大学	浜名 洋	○	×	
		川島 裕也	○	×	
30	横浜薬科大学	武田 収功	○	×	
31	北里大学	伊藤 文博	○	○	
32	昭和大学	福原 潔	○	○	
33	昭和薬科大学	岡本 巖	○	○	
		田村 修	○	○	
		山本 恵子	○	○	
34	東京薬科大学	林 良雄	○	○	
		宮岡 宏明	○	○	
35	東京理科大学	青木 伸	○	○	
36	東邦大学	東屋 功	○	○	
		加藤 恵介	○	○	
37	日本大学	宮入 伸一	○	○	
38	星薬科大学	山内 貴靖	○	○	
		津吹 政可	○	○	
39	明治薬科大学	北原 嘉泰	○	×	
40	武蔵野大学	廣谷 功	○	○	
41	帝京大学	橘高 敦史	○	○	
		忍足 鉄太	○	○	
42	愛知学院大学	安池 修之	○	○	
43	金城学院大学	今井 幹典	○	○	
44	名城大学	北垣 伸治	○	○	
45	北陸大学	要 衛	○	○	
46	鈴鹿医療科学大学	田口 博明	○	○	
47	京都薬科大学	上西 潤一	○	○	
		山下 正行	○	○	

No.	大学名	氏名（敬称略）	会議	懇親会	備考
48	同志社女子大学	富岡 清	○	○	
		白井 隆一	○	○	
49	立命館大学	北 泰行	○	○	
50	大阪薬科大学	浦田 秀仁	○	○	
		宇佐美 吉英	○	○	
51	近畿大学	大内 秀一	○	○	
		三木 康義	○	○	
52	神戸薬科大学	棚橋 孝雄	○	×	
		和田 昭盛	○	○	
		宮田 興子	○	○	
53	武庫川女子大学	西出 喜代治	○	○	
54	大阪大谷大学	前崎 直容	○	○	
55	神戸学院大学	日置 和人	○	○	
56	摂南大学	安藤 章	○	○	
57	姫路獨協大学	山中 理央	○	×	
58	安田女子大学	生中 雅也	○	○	
59	福山大学	町支 臣成	○	○	
60	就実大学	森山 圭	○	○	
61	広島国際大学	柳田 玲子	○	×	
62	松山大学	河瀬 雅美	○	○	
63	徳島文理大学	角田 鉄人	○	○	
64	徳島文理大学香川薬学部	丸山 徳見	○	○	
65	第一薬科大学	増田 寿伸	○	○	
		白谷 智宣	○	○	
66	福岡大学	山方 健司	○	○	
		丸岡 博	○	○	
67	崇城大学	寒水 壽朗	○	○	
68	九州保健福祉大学	山崎 哲郎	○	×	
69	長崎国際大学	山口 泰史	○	○	
	日本薬学会会頭	柴崎 正勝	○	○	
	日本薬学会常任理事	横山 祐作	○	○	
69大学			89名	75名	アンケート回答率100%